

天敵・害虫関連情報の共有環境「天敵 Wiki」の構築

菅原幸治・木浦卓治（中央農業総合研究センター）・田中寛（大阪府立食とみどりの総合技術センター）・関塚知己（神奈川県西湘地域県政総合センター）

【はじめに】 農業の害虫防除における天敵利用（生物的防除）は、各現場での経験や勘に頼る面が大きいと考えられるが、失敗事例を含む具体的な事例情報が共有されることはほとんどなかった。このため、2000年にWWWベースの天敵利用事例集として「天敵カルテ」を構築した。そのコンセプトから注目度は高かったが、記述の手間の問題などから想定した量の事例を収集できなかった。天敵カルテの経験から、事例収集には個人で記述するよりも共同で情報を集積する環境が効果的であると考え、2004年12月より天敵利用や害虫防除関連情報の共有環境「天敵 Wiki」(<http://wiki.tenteki.org/>)を構築してきた。

【環境構築】 天敵 Wiki は、利用者の共同作業によるページ作成・編集が可能な Web アプリケーション“Wiki”を利用している。Wiki エンジンとして PHP ベースの“PukiWiki”を用いており、要望に応じて掲示板機能や画像貼付などをカスタマイズしている。

当初呼び水となるコンテンツの掲載が必要であると考え、天敵カルテ関連の既存コンテンツである Web 昆虫図鑑を Wiki ページに変換した。その後、天敵利用マニュアル、天敵用語集、談話室、リンク集などのページを作成し、現在も継続して情報が追加されている。さらに、2006年3月に天敵 Wiki の運営体制を含めて運用環境を整えた。

【利用状況】 天敵 Wiki へのアクセス数はこれまで順調に伸びている。当初、Wiki 独特の文法が書き込みの障害となることが指摘され、できるだけ掲示板的な書き込みができるようなページを増やすことで対応した。これにより、掲示板に書き込める利用者は簡単に情報を掲載できるようになった。さらに Wiki ページを直接作成・編集できる利用者も増えてきた。特に、害虫や天敵の専門家も参加していることで、生産者等が質問を兼ねて気軽に情報を書き込める利点は大きい。また、専門家から指摘や修正が入ることで、掲載内容の信頼性が確保できると考えられる。

現在、天敵 Wiki 内の「プロジェクト」として「Web 昆虫図鑑」（図1）をはじめ、「ナスのソルゴ巻」、「天敵悪影響目安」、「農業 Wiki」、「農業 blog 集」、「天敵カルテ戦略ルーム」などのページが構築され、利用者による情報の追加が行われている。これまでに生産者から専門家まで多くの情報が寄せられたが、今後はこれらの情報を集約・整理することで「知識化」して情報提供する体制や環境の構築が課題である。



図1 ページ作成例(Web昆虫図鑑のハナアブ科)